

那須 英二 議員

日本共産党弥富市議団



問 現実的に命を守れる防災計画に

答 ワークショップで共通理解深める

問 災害時に必要な提携・連携は取れているか。

答 **〔総務部長〕** 国が緊急輸送する「フッシュ型支援」の仕組みが構築されている。また、災害時における市町村間の相互応援協定をはじめ、生活物資の確保のため、民間などと各種協定を締結している。

問 屋上避難場所ですぐ訓練を行うことは、実施する考えはないか。



▲桜保育所の屋上

答 実施する考えはない。

問 避難所・避難場所にある防災備品は充足しているか。



▲屋上の備蓄品

答 災害の規模や状況にもよるが、避難者多数の場合には不足が生じることが懸念される。

問 実践的な避難所の設置訓練などは行っているか。

答 防災ワークショップを今後も継続していく。

問 緊急防災パックなどの備えを、学校や保育所でも行うべきでは。

答 **〔教育部長〕** 備蓄品などが配置されているので備える予定はない。

問 防災計画そのものを、現実的なものに見直す必要があると思うが、市長総括を。

答 **〔市長〕** 防災会議委員からの意見などを集約し、災害に強い弥富市を目指す。

問	交通弱者を出さない覚悟を
答	様々な視点から慎重に審議する

問 「チョイソコやとみ」の実験結果と今後の方針は。

答 **〔市民生活部長〕** 今回の結果・評価を踏まえ、現在の南部ルートを維持しつつルート・ダイヤ再編と費用対効果を踏まえた別手段を検討。

問 「ぎんちゃんバス」の今後の方針は。

答 南部ルートは課題解決につながるようルートやダイヤの再編を検討。

問 今後は、実験を行わないのはなぜか。

答 意見交換会などで各ルート・地域の課題を認識し解決の手段の一つとしてデマンド社会実験を提案していきたい。

問 費用対効果というなら自由通路事業にどれだけやるのか。

答 **〔建設部長〕** 仮想的市場評価法を採用し、事業は有益であると判断している。

問 本市で交通弱者を出さないという覚悟が必要なのでは。

答 **〔市長〕** 市地域公共交通活性化協議会と共に、様々な視点から慎重に審議し、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成を目指す。